



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社メディパルホールディングス

コード番号 7459 URL <http://www.medipal.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 秀一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 左近 祐史 TEL (03)-3517-5171

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	780,341	1.1	8,661	△25.6	11,908	△20.4	5,726	△32.6
29年3月期第1四半期	771,644	3.9	11,638	43.6	14,965	33.9	8,498	60.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 12,611百万円 (10.6%) 29年3月期第1四半期 11,401百万円 (30.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	25.29	-
29年3月期第1四半期	37.53	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,552,879	528,821	28.8
29年3月期	1,525,912	521,165	28.9

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 447,344百万円 29年3月期 441,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	15.00	-	16.00	31.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	16.00	-	16.00	32.00

(注) 平成29年5月15日に公表した配当予想に変更はありません。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,552,000	1.4	17,900	△14.1	24,000	△10.8	12,100	△14.0	53.44
通期	3,116,000	1.7	42,500	7.2	56,000	4.9	30,000	3.4	132.49

(注) 平成29年5月15日に公表した業績予想に変更はありません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	244,524,496株	29年3月期	244,524,496株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	18,086,378株	29年3月期	18,086,104株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	226,438,306株	29年3月期1Q	226,439,272株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは「医療と健康、美」の流通で社会に貢献する新しい卸の形をめざし、「2019メディopal中期ビジョン Change the 卸 next - 革新と創造」に沿った取組みを展開しております。既存事業のさらなる効率化と機能の拡充、全国のインフラと人材を活用した新規事業の拡大、グループ各社の機能・資源を活かした成長分野の事業展開により収益基盤を拡大し、当社グループの持続的な成長を実現してまいります。

また、当社グループのシステム面におけるガバナンスの強化とシステムの企画開発を円滑・迅速に進めるため、平成29年4月、当社の完全子会社である株式会社メディセオ（東京都中央区）のシステム本部に係る事業を簡易吸収分割により当社が承継いたしました。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高7,803億41百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益86億61百万円（前年同期比25.6%減）、経常利益119億8百万円（前年同期比20.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益57億26百万円（前年同期比32.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品等の販売は、後発医薬品の使用促進に伴う長期収載品（先発医薬品）の縮小などにより市場がマイナス成長し、低調に推移いたしました。

本事業では、国民にとって安全・安心な医療の一翼を担う卸として、製薬企業から患者さんに至るまでのサプライチェーン全体の最適化・効率化を考え、卸機能を最大限に発揮するためのさまざまな取組みと投資を積極的に行っております。

物流基盤の強化については、高品質・高機能かつ災害対策を施した新しい物流体制の全国への拡大を進めており、平成29年2月に新設した「埼玉ALC※1」（埼玉県三郷市）、「岡山ALC」（岡山県都窪郡）はいずれも順調に稼働しております。また、ALCの稼働に伴い、周辺エリアにおいてFLC※2の設置を進めております。

営業面の強化については、2,000人規模のMR認定試験合格者を、高い専門知識とスキルをもつAR※3として任命し、新たなプロモーション活動に取り組んでおります。

これらの結果、医療用医薬品等卸売事業における売上高は5,223億1百万円（前年同期比0.1%減）、ALCの新設・稼働に伴う販売費及び一般管理費の増加等により営業利益は23億7百万円（前年同期比64.0%減）となりました。

[用語解説]

- ※1 ALC（Area Logistics Center）とは、医療用医薬品や医療材料などを扱う高機能物流センターで、主に調剤薬局、病院、診療所に商品を供給しております。
- ※2 FLC（Front Logistics Center）とは、ALCと連携して、顧客に近い場所で商品の安定供給を支える営業兼物流拠点であります。
- ※3 AR（Assist Representatives）とは、MR認定試験に合格したMS（医薬品卸売業の営業担当者）や薬剤師などに付与した社内呼称であります。

化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業

化粧品・日用品、一般用医薬品の販売は、消費マインドの改善を背景とした個人消費の持ち直しなどにより、市場環境は堅調に推移いたしました。

このような環境の中、当社の連結子会社である株式会社PALTAC（大阪市中央区）では、「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで提供する中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化をめざした取組みを行っております。また、小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化、及び安心・安全で高品質・ローコスト物流機能の強化を図り、平時の安定供給はもとより有事の際にも「止めない物流」体制により、小売業ひいては消費者の皆さまへローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

今期は、平成29年5月から稼働した「FDC広島※1」（広島市佐伯区）を、既存の「RDC中国※2」（広島市安佐南区）と連携させることで、中国エリアにおける配送効率向上に取り組んでおります。さらに、出荷能力の拡大を目的とした「RDC沖縄」（沖縄県うるま市）の増設及び「RDC新潟」（新潟県見附市）のリプレースなど、将来の基盤強化に向けた設備投資を計画どおりに進めております。

これらの結果、化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業における売上高は2,428億36百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は58億75百万円（前年同期比24.4%増）となりました。

[用語解説]

※1 FDC（Front Distribution Center）とは、発注頻度の高いケース商品を在庫し、RDCを支援する物流センターであります。

※2 RDC（Regional Distribution Center）とは、化粧品・日用品、一般用医薬品などを扱う大型物流センターで、小売業に商品を供給しております。

動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業

動物用医薬品の販売は、畜産向け市場において新商品のワクチンや抗生剤並びに飼料添加物に特化した積極的な取組みを行ったこと、また、コンパニオンアニマル※向け市場において皮膚疾患治療薬や高齢化に関わる商品等を中心に取り組んだことなどにより、順調に推移いたしました。

食品加工原材料等の販売は、大手顧客との取引が拡大したことにより、順調に推移いたしました。

これらの結果、動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業における売上高は159億70百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は3億92百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

[用語解説]

※ コンパニオンアニマルとは、伴侶動物とも表現され、日常生活の中で人とより密接な関係を保つような動物を指しております。

(注) セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	165,267	162,978
受取手形及び売掛金	689,233	709,048
有価証券	18,770	18,770
商品及び製品	147,272	151,671
その他	75,267	76,306
貸倒引当金	△658	△695
流動資産合計	1,095,153	1,118,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	102,031	101,955
土地	115,289	114,668
その他(純額)	30,422	31,715
有形固定資産合計	247,743	248,340
無形固定資産		
その他	12,851	14,585
無形固定資産合計	12,851	14,585
投資その他の資産		
その他	171,667	173,383
貸倒引当金	△1,503	△1,509
投資その他の資産合計	170,164	171,873
固定資産合計	430,758	434,799
資産合計	1,525,912	1,552,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	860,602	878,030
短期借入金	3,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	8,150	8,208
未払法人税等	6,237	3,169
賞与引当金	8,689	5,901
返品調整引当金	634	579
厚生年金基金解散損失引当金	319	—
その他	40,617	34,804
流動負債合計	928,252	946,693
固定負債		
長期借入金	15,464	14,468
債務保証損失引当金	285	291
退職給付に係る負債	19,978	20,039
その他	40,767	42,564
固定負債合計	76,494	77,364
負債合計	1,004,746	1,024,058
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,398	22,398
資本剰余金	134,362	134,362
利益剰余金	266,611	268,270
自己株式	△21,484	△21,484
株主資本合計	401,888	403,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,555	58,535
繰延ヘッジ損益	5	13
土地再評価差額金	△14,019	△14,019
為替換算調整勘定	608	445
退職給付に係る調整累計額	△1,427	△1,177
その他の包括利益累計額合計	39,723	43,797
非支配株主持分	79,553	81,477
純資産合計	521,165	528,821
負債純資産合計	1,525,912	1,552,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	771,644	780,341
売上原価	715,841	725,958
売上総利益	55,802	54,382
返品調整引当金戻入額	775	634
返品調整引当金繰入額	770	579
差引売上総利益	55,807	54,437
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	17,096	17,609
福利厚生費	2,942	3,428
賞与引当金繰入額	4,173	3,935
退職給付費用	1,743	1,576
配送費	3,931	3,979
地代家賃	1,084	1,108
減価償却費	2,861	3,283
その他	10,335	10,853
販売費及び一般管理費合計	44,168	45,775
営業利益	11,638	8,661
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	879	812
情報提供料収入	1,874	1,860
不動産賃貸料	174	151
持分法による投資利益	192	261
その他	377	292
営業外収益合計	3,507	3,386
営業外費用		
支払利息	81	58
不動産賃貸費用	54	45
その他	45	35
営業外費用合計	180	139
経常利益	14,965	11,908

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	123	4
投資有価証券売却益	—	21
特別利益合計	123	25
特別損失		
固定資産除売却損	4	5
減損損失	70	—
災害による損失	43	—
事務所移転費用	6	2
その他	23	—
特別損失合計	147	8
税金等調整前四半期純利益	14,941	11,925
法人税、住民税及び事業税	8,883	3,429
法人税等調整額	△4,315	555
法人税等合計	4,568	3,984
四半期純利益	10,373	7,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,874	2,214
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,498	5,726

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	10,373	7,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,203	4,546
繰延ヘッジ損益	△26	△6
退職給付に係る調整額	202	274
持分法適用会社に対する持分相当額	△351	△144
その他の包括利益合計	1,027	4,670
四半期包括利益	11,401	12,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,529	9,800
非支配株主に係る四半期包括利益	1,871	2,810

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	522,006	234,525	15,112	771,644	—	771,644
セグメント間の内部売上高又は振替高	565	151	1	718	△718	—
計	522,571	234,677	15,113	772,362	△718	771,644
セグメント利益	6,401	4,723	323	11,448	190	11,638

(注) 1. セグメント利益の調整額190百万円には、セグメント間取引消去805百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△614百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	医療用医薬品等卸売事業	化粧品・日用品、一般用医薬品卸売事業	動物用医薬品・食品加工原材料等卸売事業	計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	521,672	242,699	15,968	780,341	—	780,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	628	136	1	767	△767	—
計	522,301	242,836	15,970	781,108	△767	780,341
セグメント利益	2,307	5,875	392	8,574	86	8,661

(注) 1. セグメント利益の調整額86百万円には、セグメント間取引消去584百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△497百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。